

# 「自分の健康に関心をもち、進んで健康安全の増進に努力する子どもの育成」

北海道亀田郡七飯町立大沼小学校

校長 和高 敏明

7学級 81名

## 1 研究の目標やねらい

学校歯科医と養護教諭及び教職員が連携し、子どもの発達の段階に合わせた系統的な指導を行い、歯と口の健康に対する興味関心を高め、子どもたちが自ら進んで健康の保持増進を実践する態度や習慣を養う。

- 〈重点〉
- ・学校保健活動を通じて、歯と口に対する興味を引き出し高める。
  - ・保健便りなどを通して、広く保護者にも啓発活動を行う。
  - ・歯みがき習慣の定着と技術の向上を図る。

## 2 実施した主な活動

### (1) 子どもたちへの指導

#### ①「歯みがき指導」と「食育指導」等

平成17年度より、養護教諭・学級担任・栄養教諭・学校歯科医（鍋谷大史 氏）の連携のもと進めている。低・中・高学年の発達の段階に応じて、指導内容をⅠ期・Ⅱ期と設定し、小学校6年間で異なる内容の指導を行うようにカリキュラムを編成した。

毎年、見直しを行い、むし歯予防のみがき方指導だけではなく、食育や咀嚼・口腔内衛生などニーズに応じて多岐にわたった指導を行っている。

○学校歯科医による  
「保健衛生指導」



○歯科衛生士による  
「歯みがき指導」



○養護教諭による  
「歯みがき指導」



#### ②保健指導スタンプラリー

4年生以上が3班に分かれて参加し、3つの指導内容をスタンプラリーでめぐる学習を実施した。学校歯科医が「咀嚼について」、栄養教諭が「カロリーについて」、養護教諭が「消化について」の指導を受け持ち、子どもたちは、その3つの講座を受講した。講師は、自分の専門性を生かしながら子どもたちに、それぞれの立場から、「健康の保持・増進の大切さ」について、わかりやすく指導した。



かみかみマシンを使った  
「咀嚼指導」

### ③給食後の一斉歯みがき

学校に歯ブラシとコップを持参し、給食後に一斉歯みがきを実施した。歯みがきの時間には、児童保健委員会が作成した「歯みがき音楽」を流している。音楽と一緒に歯みがきの順番や方法を指導する内容になっており、3分間の歯みがき時間を確保できるように作成した。

また、子どもたちの歯みがきに対する意識の高揚を継続させるため、養護教諭が一斉歯磨きの時間に「歯みがき人形」を活用し、積極的に指導に入るようにした。

### ④児童保健委員会の活動

児童会を活用し、児童の主體的な取組を促すため、全校に、「歯みがき」の大切さを広げる活動を積極的に取り入れた。

- ・歯みがき音楽の作成
- ・月1回の歯ブラシ点検の実施
- ・歯に関する保健新聞やポスターの作成 など

## (2) 保護者への啓発活動

①歯科検診結果について、子どもの口腔内について詳しく知らせ、家庭で歯科管理についての大切さを啓発した。

②新1年生の保護者を対象とした入学説明会を活用して、学校歯科医による「むし歯予防」の講話会を開催した。

③保健便りや学校便りを通して、学校での取組を紹介し、家庭での望ましい歯みがきについて情報提供した。

④夏休み・冬休みに「歯みがきカレンダー」を配布し、家庭での歯みがきの継続を呼びかけた。



## (3) 開催事業

①日本学校歯科医会専務理事 丸山進一郎氏 による講演会の実施

- ・主催 大沼地区 子どもたちの歯と口の健康づくり推進委員会
- ・共催 日本学校歯科医師会
- ・後援 七飯町教育委員会 函館歯科医師会 他
- ・日時 平成21年10月23日 午後7時
- ・場所 大沼国際セミナーハウス
- ・演題 「生きる力をはぐくむ学校と家庭の力」
- ・講師 日本学校歯科医師会専務理事  
歯学博士 丸山 進一郎 氏
- ・内容 学校歯科医の役割の説明とともに、むし歯の現状、学校での計画的な指導とともに「食育」の大切さについて、話された。また、乳幼児期から小学校低学年・高学年・中学高校と時期ごとにわけた学校と家庭の取り組むべきポイントについて、わかりやすく説明していただいた。
- ・参加者 歯科医師会関係者・歯科衛生士・学校関係者・保護者・一般町民 約50名

## ②大沼地区歯と口の健康づくり推進委員会

大沼小学校を中心として、大沼地区の2つの中学校、4つの小学校、1つの保育園の各養護教諭、園長、学校歯科医及び教育委員会がメンバーとなり組織した。この会を通して歯科保健指導の統一を図り、保育園年長児から中学3年まで一貫した歯みがき指導を行い、むし歯や歯肉炎の改善を主とした歯と口の健康の向上を図った。

## ③「大沼歯ッピー会」(大沼地区歯と口の健康づくり推進委員会)

平成20年度より、「大沼地区歯と口の健康づくり推進委員会」が発足し、平成21年度、その委員会の名称を七飯町大沼地区の小学校4校、中学校2校の児童生徒に広く募集し、その結果、大沼小学校4年生狩野早耶さんの「大沼歯ッピー会」が選出され、前記、講演会の中で表彰を行った。

## 3 成果と課題

### ○成果

- ・学校歯科医と連携した指導により、児童の歯・口の健康に対する意識が高まった。
- ・計画をもって、指導を実施することにより児童の歯・口の健康に対する知識が高まった。
- ・学校歯科医が関わることで、子どもたちの知りたい情報を提供することができた。
- ・歯科医や栄養教諭など、様々な専門家と連携し指導を組み立てることにより、歯と口の健康の学習をきっかけに、食生活やよりよい生活習慣の知識へと子どもたちの興味関心を広げることができた。
- ・磨き方指導と、毎日の一斉歯磨きの実施により、子どもたちの歯みがき技術が向上した。
- ・学校での指導や取組を発信していくことにより、保護者や児童の意識の向上が見られた。
- ・「大沼歯ッピー会」を通して、歯科保健指導の統一を図り、保育園年長児から中学3年まで一貫した歯磨き指導を行い、むし歯や歯肉炎の改善を主とした歯と口の健康の向上を図るという道筋をつけることができた。

### ○課題

- ・歯みがき指導のカリキュラムの更なる検討
- ・食に関する指導やその他保健指導との関わりについての精査検討
- ・学校だけではなく、地域としての取組の拡大
- ・歯みがき習慣の定着と継続に対する工夫

